「研究業績」の作成について(2007.4)

農学部教員人事委員会

「研究業績」の作成について(2007.4) 農学部教員人事委員会

研究業績は、A4判の用紙に A.著書・訳書、B.学位論文、C.総説・論説、D.原著 論文 (a)学術雑誌\*1、(b)紀要\*2、(c)プロシーディングス、E.その他\*3、F.報告書・事業報告書等\*4 、G.特許・設計等、H.国際学会発表\*5、I.国内学会発表\*5の順に、下記 の例を参考にして作成してください。例えば総説・論説がない場合は、C.原著論文のように繰り上げてください。マージンは左右上下約3cmに設定し、1行35〜40字で40行程度(日本文の場合フォントのサイズは10.5〜12程度)にしてください。

　\*1:学会誌、国際誌等を年代順に記載する。

　\*2:試験場報告、研究所報告等を含む。

　\*3:商業雑誌、資料等を記載する。

　\*4:調査報告書、科学研究費報告書、事業報告書等を記載する。

　\*5:最近5ヵ年について記載する。(教授選考の場合、I.国内学会発表は不要)

　\*6:著者名にアンダーラインを付け、コレスポンディングオーサーあるいは筆頭著者

　　とイコールコントリビューションの場合は二重のアンダーラインを付ける。ただ

し論文にその記載がある場合に限る。

　\*7:英文で著者名を記載する場合は、下記のようにする。

　　　1. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)

　\*8:学名にはアンダーラインをつけるか、またはイタリックで記載する。

　\*9:論文番号は全角、英数字は半角にする。また、巻数はボールド(太字)とする。

　\*10:Journal は略記する。

　\*11:発行又は発表予定として記載可能なのは in press か accepted のみとする 。

〈記載例〉

研 究 業 績 (著書・学術論文等)

A.著書・訳書

　1.岩手一郎(単著)(1990)

　　農学について.○○出版社、東京、100p.

　2.岩手一郎(分担執筆)(1991)

　　北上山地における畜産業，「岩手の農業」(大学太郎、学部一郎編)，△△堂，盛岡，pp.10-20.

　3.岩手一郎(分担翻訳)(1992)

　　トウモロコシ，「アメリカの農業」(A.B.Carter 著，大学太郎監訳)，◇◇社，東京，

　　pp.20-30.

　4.Iwate, I. and Morioka, J. (分担執筆)(1993)

　　Agriculture in Japan, ␣Agricultural Sciences␣(Eds.: D. E. F. Green and H. I. James), Bio Press, London, pp.20-30.

B.学位論文

　1.岩手一郎(1980)

　　XYZに関する研究.[◇◇学修士または修士(◇◇学) ○○大学]

　2.岩手一郎(1983)

　　ABCに関する研究.[◇◇学博士または博士(◇◇学) ○○大学]

C.総説・論説

　1.岩手一郎(1994)

　　岩手における野生動物の分布.岩手の自然 No3:1-5.

　2.岩手一郎、盛岡次郎(1995)

　　岩手山の植物分布.岩手植物誌 15:215-220.

D.原著論文

(a)学術雑誌

　1. 岩手一郎(1985) 岩手の野生動物に関する研究.日動学誌 5:15-20.

　2. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986) Distribution of wild animals in Iwate Prefecture. Jpn. J. Anim. Sci. 20:100-105.

　3. Iwate, I. (1990) Calcium metabolism in laying Japanese quail (Coturnix coturnix japonica). Jpn. Avian Physiol. 25:15-20.

(b)紀要

　1.岩手一郎(1985)

　　トウホクヤマネズミの生態について.岩手大農報 17:30-40.

(c)プロシーディングス

　1. Iwate, I., Morioka, J. and Akita, N.(1995) Mode of life of Japanese macaques in northern Japan. Proc. 5th Int. Cong. of Wild Animals、 Berlin、 pp.101-102.

E.その他

　1.盛岡次郎、岩手一郎(1990)

　　北上山系におけるニホンカモシカの生態調査.野生動物 No125:pp.35-45.

F.報告書・事業報告書等

　1.盛岡次郎，岩手一郎(1993)

　　イヌワシのPCB汚染.自然動物調査報告(△△県)、 pp.10-11.

G.特許・設計等

　1.盛岡次郎，岩手一郎(1993)

　　イヌワシ捕獲装置 特許第 1234567 号

H.国際学会発表(最近5か年)

　1.Morioka, J. and Iwate, I. (1996)

　　Ecological study of wild animals in Japan. 5th Int. Anim. Ecol., New York.

I.国内学会発表(最近5か年)

　1.岩手一郎，盛岡次郎(1997)

　　岩手の野生動物.第 100 回日本野生動物学会講演要旨:25-26.